

平成25年6月9日  
今週のベストショット



雁レクD 三友クラブ 対 雁ノ巣ライナーズ戦  
三友クラブ足達投手がライナーズ三宅選手のホーム突入をブロック！  
写真：三苦フレンズ 肥喜里一征

雁レクC 味方の“ダメ出し”から飛び出たウインズ今林選手の“駄目押し”HR！

三苦三球会 (0勝1敗) 0000010 1 吉留●ー藤澤

新町ウインズ (1勝2敗) 201110X 5 藤田○ー今林

HR：藤澤 (三球会) 城戸、今林 (新町ウ)、2BH：堺和彦、堺太一 (三球会) 安藤(一) (新町ウ)

一回表ウインズ藤田投手は、先頭打者を三振に取るものの続く堺和彦選手の一塁後方への二塁打、藤澤選手への四球で塁を埋められる。しかし球威を活かし、後続を内野フライと三振に抑え無失点で切り抜けた。一方、三球会の吉留投手は先頭から連続四球を与えたものの、盗塁アウトと三振で二死とし、同様に初回のピンチを切り抜けるかと思われた。しかしウインズ四番城戸選手のバット一閃、2ランを浴びて先制を許してしまう。ウインズは三、四回共にワイルドピッチを絡めて1点ずつ追加点を加え、五回には三番今林選手のソロHRで試合の主導権をガッチリ握った。三球会も安打を放つものの単発となり、なかなか得点に結びつかない。六回表、藤澤選手が本塁打、続く堺太一選手も二塁打を放って反撃の機運が高まったが、追撃もここまで。初回の攻防で優位に立ったウインズが藤田投手の七回完投、被安打4、失点1、8奪三振の好投で勝利した。

(写真：塩浜ジャガーズ 松下照夫、記事：高嶺信彦)



好投のウインズ藤田投手が今季初勝利をもたらした。



初回の失点が最後まで響いた三球会吉留投手。



五回裏、ウインズ今林捕手ダメ押しソロで破顔一笑。



レフトへ巧打、ウインズ安藤選手。



WPのピンチを狭殺でしのぐ三球会守備陣。



藤田選手をタッチアウトとする三球会堺和彦遊撃手。

**青松園A 奈多サンデーズ木下選手、投打に大活躍でレッドに圧勝！**

奈多サンデーズ (2勝) 1 2 7 2 4 16 木下○—荒口

レッドサンデーズ (3敗) 0 0 0 3 1 4 田中俊●—前田

HR : 木下2、大沼(奈多サ)、折居(レッド) 2BH : 荒口 (奈多サ)

盗塁 : 木下、土田、鳥羽、吉留2 (奈多サ)



一回表奈多サンデーズは二番木下選手が四球で出塁すると、すかさず盗塁とワイルドピッチで三塁へ進むと、三番秋山選手のセンター前で先制。続く二回表一死から、宮口、土田、木下選手の3連打と押し出しで2点を追加。三回には木下選手、大沼選手の本塁打を含む打者11人の猛攻撃で7点を加点し、四回表にも木下選手のこの日2本目の本塁打が飛び出し10-0とレッドを圧倒。この試合で目立ったのは打撃絶好調の奈多サンデーズ木下選手。投げても二回裏に三者連続三振を奪うなど投打で大活躍。終盤レッドサンデーズも意地を見せ4点を返すが、15安打の猛攻で16得点を奪った奈多サンデーズの完勝であった。

(記事、写真：ソルトベイスターズ 田中裕次郎)



投打に活躍を見せた奈多サンデーズ木下投手。



古巣奈多サンデーズ打線を相手にしたレッド田中投手。



試合前の挨拶。レッドはギリギリの9人(汗)。



2HRを放ったサンデーズ木下選手。



レッド田中投手を足で揺さぶるサンデーズ土田選手。



果敢に二盗を決めてアピール！サンデーズ鳥羽選手。





ライトオーバーHRを放ったサンデーズ大沼選手。



レッド折居選手、意地のレフトオーバーHR。



タイムリーを放ち自らも得点を挙げたレッド稲又選手。



狭殺プレー等のミスで失点を重ねたレッド内野陣。

## 奈多グラウンド 昨年覇者フェニックス強し！ドラマは最終回に待っていた！！

奈多フェニックス（2勝）1000015 7 今林勇○ー実延新

三苫ホーネッツ（1敗）0020010 3 井手、岩満●ー松尾

HR：西藤（奈多フ） 2BH：実延彰（奈多フ） 盗塁：山崎4（三苫ホ）

奈多フェニックス西藤選手の初回先頭打者ホームランで始まったこの一戦。二回は両者無得点に終わるが三回裏、三苫ホーネッツは稲葉選手の2点タイムリーヒットで逆転に成功する。その後両投手の好投が続き六回を迎える。先攻の奈多フェニックスは相手のエラーが絡み1点を奪う。対する三苫ホーネッツもこの試合4盗塁を決めた一番山崎選手のタイムリーヒットで1点を追加し、2-3となる。そして最終回。奈多フェニックスの攻撃は二塁打1本を含む4安打の猛攻で逆転！！代わった相手投手を見事に打ち崩し一挙5点を獲得して大きく引き離す。その裏、三苫ホーネッツは反撃の糸口を掴めずに凡退。最後に意地を見せた奈多フェニックスの勝利となった。三苫ホーネッツは初戦を勝利で飾ることができず惜敗。（記事、写真：新町パイレーツ 安部貴大）



堂々のピッチングを披露、フェニックス今林勇太投手。



金星が目前だった三苫ホーネッツ井手投手。





初回先頭打者HRを放ったフェニックス西藤選手。



走攻守で活躍ホーネッツ一番山崎選手。



二塁打を打ったフェニックス四番 実延彰洋選手。



ホーネッツ池間選手、際どいタイミングもアウト！



絶妙なバントを決めるフェニックス砂場選手。



三回裏にタイムリーを放ったホーネッツ稲葉選手。



七回表、フェニックスが同点に追いつく。



ホーネッツ松尾捕手の決死のブロックも判定はセーフ。



## 雁レクD 両チームとも譲らない試合展開で引き分け！！

三友クラブ (1勝1分) 10220 5 足達一柿崎

雁ノ巣ライナーズ (1勝1分) 01202 5 鳥越一明瀬

HR: 福井 (三友ク)、中口 (雁ノ巣) 3BH: 宇野 (雁ノ巣) 2BH: 宇野 (雁ノ巣)

盗塁: 大坪 (三友ク)

初回、三友クラブは一番竹岡選手が四球で出塁すると三番柿崎選手のこの試合1本目となるヒットと五番森野選手の四球で満塁のチャンス。続く六番坂本選手四球を選び、1点を先取した。しかし、雁ノ巣ライナーズは二回裏、六番の国崎選手がセフティーバントを決め、後続の七番木戸選手もすかさず送りバントを成功させ、九番鳥越選手のセンターへの犠牲フライで同点に成功。雁ノ巣ライナーズの小技が光った攻撃だった。三回表の三友クラブは相手エラーと三番柿崎選手の本日2本目のヒットや四番松尾選手の犠牲フライ等ですかさず2点を奪い逆転に成功。三回裏、一番から始まる雁ノ巣ライナーズも負けてはいない。いきなり中口選手が右中間に抜けるソロホームランをたたき出すと三番宇野選手の大きな三塁打も飛び出しましたもや同点に！しかししかし、四回表三友クラブの九番打者、福井選手もレフトオーバーの余裕のツーランで逆転にまたもや成功。ここで三友クラブに勝利がほほ笑んだか？いや、最終回到雁ノ巣ライナーズの気迫と意地が待っていた。一番から始まる好打順も味方し、小技を絡め同点に追いつき引き分けに持ち込んだのだ。両チームとも取られては取ってと最後まで諦めない、久々にみる好試合だった。(記事、写真: 三苦フレンズ 肥喜里一征)



ベテランには負けじと投げ抜いたライナーズ鳥越投手。



若手には負けじと投げ抜いた三友クラブ足立投手。



一回表三友クラブ三番柿崎選手、中前打で一三塁のチャンス。



二回裏ライナーズ六番岡崎選手の絶妙なセフティーバント。





七番木戸選手の送りバントで一死二塁のチャンス。



ライナーズ2点目のホームインを死守する三友足達投手。



三回表、三友クラブ柿崎選手2本目のセンター前。



三回裏、ライナーズ一番中口選手の右中間ソロHR。



ライナーズ三番宇野選手のセンターを抜ける三塁打。



四回表、三友クラブ9番福井選手の逆転ツーラン。



福井選手を迎える三友クラブベンチ。

## 第4週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

6月9日は4試合が行われました。

雁レクCの三球会对ウインズ戦は、初回に明暗が分かれてしまいました。チャンスをものに出来なかった三球会に対し、二死からウインズ四番城戸選手の2ランで最初のチャンスをものにしたウインズは、その後も効果的な追加点を加え、藤田投手の好投も相まって1-5で今季初勝利。女房役の今林孝智捕手の一発は味方からの暖かい(?) 檄に応えたものだったそうですね。

青松園Aの奈多サンデーズ(以下サンデーズ)対レッドサンデーズ(以下レッド)の同門対決は、優勝候補のサンデーズに対し、この日もメンバーが揃わず9人というレッドではその差も歴然。初回から毎回得点で大量の16点を挙げたサンデーズに対し、レッドは終盤何とか4点を挙げ完封を免れた。この日完投、3打数3安打2HR5打点の木下投手をはじめ、バント、盗塁を交えたサンデーズの攻撃は今年も脅威だ。

奈多グラウンドの奈多フェニックス対三苦ホーネッツ戦は、フェニックス西藤選手の先頭打者HRで幕を開けると手に汗握るシーソーゲーム。フェニックス1点ビハインドで迎えた最終回の攻撃は、一死から連打死球で塁を埋め、西藤選手の犠飛で同点、二番今林文彦選手のタイムリーで逆転すると一挙5点を挙げ、そのまま今林勇太投手が投げ抜いた。昨年優勝投手の砂場投手を温存しての強豪ホーネッツ戦の勝利と、今年もフェニックスに死角はない。

雁レクDの三友クラブ対雁ノ巣ライナーズ戦は、初回押し出しで先制した三友だがライナーズもすぐに追いつく。先に点を取る三友に対し再三追いつくライナーズのしつこさの結果5-5の引き分け。三友は9番の福井選手の2ランを含むたった3本のヒットで5点を挙げなんとか勝利を手にしたかったが、ライナーズ1番中口選手と好調3番宇野選手の長打や3打数3内野安打の6番国崎選手の活躍で負けなかったライナーズ。どちらもあと1点が欲しかった。